

m.

That's Mine. It's Mine

GEO協議会だより

編集・発行：Mine 秋吉台ジオパーク推進協議会事務局

ユネスコ世界ジオパークの認定に向けて



★4/18 国内推薦申請書を提出しました

ユネスコ世界ジオパーク認定に向けて、国内推薦を得る第一歩として、日本ジオパーク委員会事務局に申請書を提出しました。

★5/25 プレゼンテーションを 幕張メッセで行いました

次に、日本ジオパーク委員会の委員等に対し、12分間のプレゼンテーション（発表）を行いました。特に、カルスターと中継を繋ぎジオパーク活動に取り組む方々の声を生で伝えたことは、とても高い評価を得ました。



私たちのジオパーク宣言

地球に寄り添い、人と支え合う社会の実現

人と支え合う
社会づくり

地球に寄り
添う人材
づくり

人と支え合う
しくみづくり

地球に寄り
添うツーリ
ズムづくり

地質地形遺産の保全

★7/28~30 現地審査が行われます

7月下旬には、審査員3名がMine秋吉台ジオパークに来られ、活動に取り組む方々へのヒアリングや、ジオサイトの視察等を行います。審査員が様々な地区でみなさんにお話を伺うこともあるかもしれません。審査員は、ジオパーク活動に対するみなさんの率直なご意見を求めていますので、ご協力のほどよろしくお願いします！

なお、国内推薦の可否は、これら3つの審査を踏まえて、10月上旬に開催される日本ジオパーク委員会で決定されます。



Geoguide Column

げなげなジオ話⑩

認定ジオガイド 檜崎知行

かやがはやま

榎ヶ葉山に登ったよ

この春先、エコツアーで美東町の長登銅山跡の榎ヶ葉山に登った。榎ヶ葉山は山焼きの範囲外の秋吉台にある。頂上直下に、前回「常人には行けない坑道の奥で奈良時代の土器を採集」と書いた坑道がある。

普段は、七合目付近にある大切山（おおぎりやま）四号坑までしか登れない。山頂へはさらに数百m、道のない急坂を上らなければならない。しかもマムシやハチがいて夏季は危険という。

行きたいけど行けない場所へのツアーとあって、県外を含めて20人あまりの参加があった。坑道のある一号露天掘跡は、径、深さとも10mほどの垂直の堅穴で、現在では岩登りの技術がなければ底まで降りられない。そのため、底から水平に約40mのびているという坑道の口は確認できなかったが、採掘、搬出の困難さを思うと、古代の人の銅にかける熱意が伝わってきた。

もう一つ嬉しかったのは、頂上の石灰岩に腰かけて弁当を食べたこと。ご存じのように秋吉台の普通の石は角がとがっていて、まず腰かけられない。

しかし、長登の鉱床を作ったマグマの影響で、ここの石灰岩は結晶質になって、丸くなっているげな。

たぶん、ただ一回のエコツアーのため藪を刈りこみ、急坂に数10mにわたってロープを張っていただいた関係者に深謝。



ロープが張られた急斜面

榎ヶ葉山一号露天掘り跡

地域の魅力と「感動」が伝わるガイドを目指して！！



認定ジオガイドスキルアップ講座6/1-2

お客様にMine秋吉台ジオパークを思いっきり楽しんでもらえるように「インタープリテーション」というガイドの手法を学びました。

インタープリテーションとは、能動的な体験を通して、人々に感動を伝えることです。

秋吉台に何度も来られている、地元の方でも楽しめるようなジオツアーも開催していきたいと思っています。

● **ちょこっとジオ話** ^{ばな} Mine秋吉台ジオパークの大地には「地球の記憶」が詰まっています。石灰岩などの岩石はどこから来て、なぜここにあるのか・・・その記憶を守り、地域で共有しながら「地球に寄り添い、人と支え合う社会」を目指します。

【時間】

【距離】

8,000万年



地球の記憶



約10,000km

